

厚生労働大臣 殿

筑波大学長
岩崎 洋

筑波大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修実績

研修医の人数	55人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照 (様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照 (様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	243人	125人	368人	看護業務補助	38人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	4人	2人	6人	理学療法士	6人	臨床 衛生検査技師 その他	臨床検査技師 44人
薬剤師	32人	0人	32人	作業療法士	4人		衛生検査技師 0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	1人		検査 その他 0人
助産師	22人	0.6人	22.6人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	494人	8.1人	502.1人	臨床工学技士	5人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	1人	0人	1人	栄養士	1人	その他の技術員	7人
歯科衛生士	1人	0人	1人	歯科技工士	2人	事務職員	108人
管理栄養士	6人	0.8人	6.8人	診療放射線技師	28人	その他の職員	33人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	672.6人	13.7人	686.3人
1日当たり平均外来患者数	1,298.6人	48.1人	1,346.7人
1日当たり平均調剤数	1,547.5 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の24時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
・人工中耳	有・無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	人
・抗がん剤感受性試験	有・無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
・成長障害のDNA診断	有・無	人
・生体部分肺移植術	有・無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	人
・鏡視下肩峰下控徐圧術	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・31 燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	0人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	6人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	0人
・活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・㊟	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・㊟	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	㊟・無	1人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・㊟	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	㊟・無	10人
・顎顔面補綴	㊟・無	1人
・顎関節症の補綴学的治療	有・㊟	人
・歯周組織再生誘導法	有・㊟	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・㊟	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・㊟	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・㊟	人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・㊟	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・㊟	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・㊟	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・㊟	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・㊟	人
・自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・㊟	人
・画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・㊟	人
・凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・㊟	人
・強度変調放射線治療	有・㊟	人
・胎児心超音波検査	有・㊟	人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・㊟	人
・画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・㊟	人
・インプラント義歯	有・㊟	人
・顎顔面補綴	有・㊟	人
・人工中耳	有・㊟	人
・歯周組織再生誘導法	有・㊟	人
・抗がん剤感受性試験	有・㊟	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・㊟	人
・生体部分肺移植術	有・㊟	人
・活性化血小板の検出	有・㊟	人
・末梢血幹細胞による血管再生治療	有・㊟	人
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・㊟	人
・先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・㊟	人
・超音波骨折治療法	有・㊟	人
・眼底三次元画像解析	有・㊟	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・CYP2C19 遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・㊟	人
・非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・㊟	人
・X線 CT 画像診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・㊟	人
・定量的 CT を用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・㊟	人

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。
2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。
3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	59人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	9人
・多発性硬化症	53人	・ウェゲナー肉芽腫症	8人
・重症筋無力症	87人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	33人
・全身性エリテマトーデス	321人	・多系統萎縮症	13人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	29人	・膿疱性乾癬	5人
・サルコイドーシス	63人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・筋萎縮性側索硬化症	24人	・原発性胆汁性肝硬変	15人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	151人	・重症急性膵炎	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	86人	・特発性大腿骨頭壊死症	28人
・結節性動脈周囲炎	34人	・混合性結合組織病	30人
・潰瘍性大腸炎	107人	・原発性免疫不全症候群	1人
・大動脈炎症候群	31人	・特発性間質性肺炎	10人
・ビュルガー病	19人	・網膜色素変性症	17人
・天疱瘡	25人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	35人	・原発性肺高血圧症	9人
・クローン病	50人	・神経線維腫症	9人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	8人	・バット・キリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・パーキンソン病関連疾患	78人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	4人
・アミロイドーシス	6人	・ライゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	31人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	1人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週1回程度		
剖 検 の 状 況	剖検症例数	39例	剖検率 14.6%

(様式第 11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
心臓疾患における自立訓練法を用いた心理学的介入の治療効果の検討	久賀圭祐	循環器内科	50万円	㊦ 科学研究費補助金基盤研究(C) 委
循環器病委託研究事業 「虚血性心疾患を中心とした循環器病疾患とOSAの関連」	武安法之	循環器内科	100万円	㊦ 国立循環器病センター 委
骨髄幹細胞移植による心筋梗塞後リモデリングの制御 課題番号 18790985	榎本佳治	循環器外科	210万円	㊦ 文部科学省 科研費若手研究 委
血管新生療法に血管平滑筋細胞は必要か?	佐藤藤夫 大根田 修 兵藤一行 榊原 謙	循環器外科	240万円	㊦ 文部科学省 科研費基盤(C) 委
TFPI 動員による体外循環中の組織因子阻害はヘパリンに代わる抗凝固戦略となるか?	平松祐司 揚山直英 長澤俊郎 榊原 謙	循環器外科	270万円	㊦ 文部科学省 科研費基盤(B) 委
在宅医の早期参加による在宅緩和医療推進に関する研究	兵頭一之介	消化器内科	130万円	㊦ 厚生労働省 委
スルフォラファン含有食品による消化管がん予防に関するトランスレーショナルリサーチ	谷中昭典	消化器内科(光学医療診療部)	100万円	㊦ 日本学術振興会 科学研究費、基盤(C) 委
難治性疾患克服研究事業「肝内結石症」	正田純一	消化器内科	30万円	㊦ 厚生労働省科学研究費 委

8件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
成育医療研究委託費 日常診療の指針「新生児乳児閉塞性黄疸の病因に関する分子的要因と治療法の検討」	正田純一	消化器内科	30万円	補 ⑤ 成育医療研究委託費
NEDO「糖鎖関連分子・糖鎖構造を用いた胆道系悪性腫瘍のバイオマーカーの探索とそれらを応用した新規治療法の開発」	正田純一	消化器内科	210万円	⑥ 経済産業省バイオテクノロジー組合 委
HER2 導入マウスによる胆道発癌、癌進展因子の探索と新規イムノトキシン療法の開発	正田純一	消化器内科	190万円	⑥ 科学研究費補助金 委
漢方製剤生薬成分の胆汁うっ滞に対する胆汁分泌促進と肝保護の新しい効果と分子機構	正田純一	消化器内科	190万円	⑥ 科学研究費補助金 委
インチンコウ湯及びその成分の肝保護作用に関する研究 (CGA18042)	正田純一	消化器内科	140万円	補 ⑤ 産学連携共同研究費 株式会社ソムラ
転写因子 Nrf2 による肝輸送蛋白の発現調節機構の解明と胆汁うっ滞に対する胆汁酸製剤による新しい分子標的治療 (CGA18149)	正田純一	消化器内科	22万円	補 ⑤ 産学連携共同研究費三菱ウエルファーマ
ファイバー改変型癌特異的増殖アデノウイルスによる胆道癌遺伝子治療の実験的有効性	安部井誠人	消化器内科	280万円	⑥ 文部科学省科学研究費、基盤(B) 委

7件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
生体用途蛍光色素/ プローブの評価	松井裕史	消化器内科	300万円	補 ⑤ ㈱オリンパス
血小板を用いた新しい重症肝疾患に対する治療法の開発	大河内信弘	消化器外科	410万円	⑥ 文部科学省 委
抗癌治療法評価に有用な高効率肝転移動物モデルの作成	小田竜也	消化器外科	160万円	⑥ 文部科学省 委
受容体を標的にしたリガンドトキシン産生細胞をマイクロカプセル化した新規抗癌治療	小田竜也	消化器外科	430万円	⑥ 文部科学省 委
肝腫瘍臨床試験研究	大河内信弘	消化器外科	15万円	⑥ 放射線医学総合研究所 委
肝不全に対する治療法の開発	大河内信弘	消化器外科	100万円	⑥ TARAプロジェクト 委
凍結乾燥血小板を用いた肝再生促進治療の開発	大河内信弘	消化器外科	300万円	⑥ 産学連携推進プロジェクト 委
転写因子 Nrf2 を標的とした急性肺損傷および肺線維症に対する新たな治療法の開発	石井幸雄	呼吸器内科	350万円	⑥ 日本学術振興会 委
肺空気漏れ量を定量化するための非侵襲的連続モニタリングシステムの開発	酒井光昭	呼吸器外科	25万円	⑥ 学内プロジェクト 委
生理学的多変量データの取得と外科的処置が可能な胸腔内統合監視システムの構築	酒井光昭	呼吸器外科	100万円	⑥ 科学研究費若手B 委

10件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
多臓器不全患者に対する持続的血液濾過、エンドトキシン吸着療法の末梢血によるミトコンドリア機能評価および末梢顆粒球に及ぼす効果の検討	山縣邦弘 金子修三	腎臓内科	10万円	㊦ 平成18年度筑波大学学内プロジェクト 委
新規 Maf 群転写因子関連糖尿病性腎症モデルマウスの作製および病態制御における Maf 群転写因子の機能解析	楊 景堯	腎臓内科	30万円	㊦ 平成18年度筑波大学学内プロジェクト 委
マウス半月体形成性腎炎モデルにおけるレトロトランスポゾン抑制効果の検討	清水芳男	腎臓内科	25万円	㊦ 平成18年度筑波大学学内プロジェクト 委
血液透析における生体適合性の向上を目指したラジカル評価システムの開発	平山 暁 白石卓夫 大矢博昭	腎臓内科 他	1,300万円	補 ㊦ 平成18年度筑波大学産学リエゾン研究センター産学連携推進プロジェクト
非侵襲的レドックスイメージングによる高血圧性腎病変解析と酸化制御治療の開発	平山 暁 永瀬宗重 楊 景堯	腎臓内科	22万円	㊦ 平成18-19年度文部科学省科学研究補助金基盤研究(C)一般 委
新規ヒト腎炎モデルマウスの病態解析および Th1/Th2 転写制御による治療の試み	楊 景堯	腎臓内科	130万円	㊦ 科学研究補助金基盤研究(C) 委

6件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
糸球体上皮細胞におけるミトコンドリア機能と蛋白漏出・糸球体硬化病変形成機序の検討	山縣邦弘	腎臓内科	170万円	㊦ 科学研究補助金基盤研究(C) 委
抗原提示能に応じた選択的癌細胞療法の開発	赤座英之	腎泌尿器外科	75万円	㊦ TARAプロジェクト 委
前立腺がんのリスク評価と化学予防	赤座英之	腎泌尿器外科	1,620万円	㊦ 文部科学省 委
分子標的薬剤の反応性診断と治療応用：腎細胞癌に対するsorafenibの感受性予測遺伝子群の同定	赤座英之	腎泌尿器外科	350万円	㊦ 文部科学省 委
超音波による高機能エンドスコピック組織弾性イメージングシステムの開発	宮永直人	腎泌尿器外科	80万円	㊦ 日本学術振興会 委
早期浸潤性膀胱がんの予後改善をめざした集学的治療の研究(JCOG study)	赤座英之	腎泌尿器外科	50万円	㊦ 厚生労働省 委
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究(JCOG study)	赤座英之	腎泌尿器外科	30万円	㊦ 厚生労働省 委
メタボリックシンドロームにおけるエネルギー代謝調節因子の探索とその機能解析	山田信博 島野 仁 豊島秀男	内分泌代謝・糖尿病内科	1,222万円	㊦ 文部科学省 委
糖尿病における血管合併症の発症予防と進展抑制に関する研究	山田信博	内分泌代謝・糖尿病内科	5,099.9万円	㊦ 厚生労働省 委

9件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
CDKインヒビターp21の脂肪細胞分化、肥大化における役割の検討	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	400万円	㊦ 文部科学省 委
新規インスリン抵抗性改善転写因子とエネルギー代謝転写因子ネットワークの解析	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	540万円	㊦ 文部科学省 委
組織脂質の質的变化による生活習慣病の改善	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	500万円	㊦ 上原記念生命科学財団 委
新規長鎖脂肪酸伸長酵素 Fatty acyl-CoA elongase の生体内における機能ならびに病態への関与	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	200万円	㊦ 小野医学研究財団 委
遺伝子改変による有酸素運動下モデルマウス作成と、糖代謝に与える影響についての検討	鈴木浩明	内分泌代謝・糖尿病内科	140万円	㊦ 文部科学省 委
糖尿病腎症における高血糖誘導性エネルギー代謝調節転写因子 SREBP-1 の役割	高橋昭光	内分泌代謝・糖尿病内科	190万円	㊦ 文部科学省 委
新たな診断・治療法開発のための免疫学的手法の開発に関する研究	住田孝之	膠原病リウマチアレルギー内科	4,600万円	㊦ 厚生労働省 委
関節リウマチ治療における新規生物製剤の治療方針の作成及びその検証に関する研究	住田孝之	膠原病リウマチアレルギー内科	150万円	㊦ 厚生労働省 委
関節リウマチの早期診断法の確立及び臨床経過の予測に関する研究	住田孝之	膠原病リウマチアレルギー内科	175万円	㊦ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
免疫疾患に対する免疫抑制療法等先端的新規治療法に関する研究	住田孝之	膠原病リウマチアレルギー内科	200万円	㊤ 厚生労働省 委
血管におけるレクチンを介する生体防御システムの解明と創薬への応用	堤 明人	膠原病リウマチアレルギー内科	125万円	㊤ 厚生労働省 委
自己免疫疾患に関する調査研究	伊藤 聡	膠原病リウマチアレルギー内科	130万円	㊤ 厚生労働省 委
リウマチ・アレルギー疾患の治療反応性予測因子の確立及びテーラーメイド治療法の確立に関する研究	伊藤 聡	膠原病リウマチアレルギー内科	200万円	㊤ 厚生労働省 委
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	後藤大輔	膠原病リウマチアレルギー内科	60万円	㊤ 厚生労働省 委
シェーグレン症候群の抗原特異的分子制御	住田孝之	膠原病リウマチアレルギー内科	120万円	㊤ 厚生労働省 委
トリストトラプロリン分子機能、遺伝子発現、遺伝子多型と関節リウマチの病態	堤 明人	膠原病リウマチアレルギー内科	140万円	㊤ 厚生労働省 委
同種NK細胞と抗CD20単クローン抗体rituximab併用による、CD20陽性リンパ腫の新規治療法開発	大越 靖	血液内科	30万円	㊤ 筑波大学学内プロジェクト 委
From the bed to the Bench. ベッドサイドとベンチを繋ぐ一滴の骨髄液	工藤大輔	血液内科	10万円	㊤ 筑波大学学内プロジェクト 委
競技スポーツ選手における多血症の原因特定と血液学的マネージメント	向井陽美	血液内科	100万円	㊤ 日本オリンピック委員会 委

10件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
神経皮膚症候群に関する調査研究	大塚藤男	皮膚科	100万円	④ 厚生労働省 委
悪性黒色腫の新しい診断及び治療法の開発に関する研究	大塚藤男	皮膚科	90万円	④ 厚生労働省 委
酸化ストレス応答因子 Nrf2 が皮膚の紫外線発癌・光老化の予防に果たす役割	川内康弘	皮膚科	220万円	④ 日本学術振興会 委
進行神経芽腫に対する標準的治療確立および新規治療開発のための研究	金子道夫	小児外科	3,315万円	④ 厚生労働省 委
小児に対するオーダーメイド型再生医療のための肝細胞基盤技術の開発と胎盤の利用	小室広昭	小児外科	170万円	④ 日本学術振興会 委
小児固形腫瘍の根治を目指した腫瘍肝細胞標的療法の開発研究	小室広昭	小児外科	90万円	④ 文部科学省 委
細胞治療を導入した移植後免疫寛容誘導法の開発に向けた基礎的実験	井上成一朗	小児外科	13万円	④ 日本学術振興会 委
分光測色計に用いたケロイド・肥厚性瘢痕の評価に関する研究	畑寿太郎	形成外科	100万円	補 ⑤ キッセイ薬品
アポリポ蛋白E遺伝子改変マウス脳における酸化ストレスとアミロイドβ蛋白	玉岡 晃	脳神経内科	220万円	④ 文部科学省科学研究補助金基盤研究(C)(2) 委
酸化ストレスによるBACE1発現変化とアミロイドβ蛋白との相関に関する解析	玉岡 晃	脳神経内科	240万円	④ 文部科学省科学研究補助金特定領域研究 委

10件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
アミロイドーシスに関する調査研究	玉岡 晃	脳神経内科	90万円	㊤ 厚生労働省科学研究補助金 委
酸化ストレスによるBACE1発現変化とアミロイドβ蛋白との相関に関する解析	玉岡 晃	脳神経内科	100万円	補 ㊤ 三共生命科学研究振興財団
難治性の慢性炎症性脱髄性多発根神経炎に対する治療法の検討	石井亜紀子	脳神経内科	10万円	㊤ 筑波大学 委
化学兵器由来と考えられるジフェニルアルシン酸中毒の臨床学的研究と治療法の開発	石井一弘	脳神経内科	80万円	㊤ 日本学術振興会 委
ジフェニルヒ素化合物による中毒の機構解明ならびにその治療法の開発	石井一弘	脳神経内科	158万円	㊤ 日本学術振興会 委
選択的アルファ線照射による脳血管形成術後の再狭窄予防に関する基礎的研究	松村 明	脳神経外科	80万円	㊤ 文部科学省 委
熱外中性子を用いた悪性脳腫瘍に対する細胞選択的次世代粒子線治療の研究	松村 明	脳神経外科	470万円	㊤ 文部科学省 委
悪性腫瘍に対する血管内皮前駆細胞を用いた血管新生抑制療法	高野晋吾	脳神経外科	150万円	㊤ 文部科学省 委
抗原提示能に応じた選択的癌細胞療法の開発	高野晋吾 (分担研究者)	脳神経外科	50万円	㊤ 筑波大学 TARA プロジェクト 委

9件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
脳神経外科手術トレーニングシステムの開発	高野晋吾	脳神経外科	10万円	㊤ 医学系学内プロジェクト 委
子宮頸がん発生日防のための HPV ワクチンの開発と臨床応用に関する研究	吉川裕之	婦人・周産期	520万円	㊤ 文部科学省 委
臨床及び非臨床のデータに基づく医薬品の催奇形性のリスク分類に関する研究	吉川裕之	婦人・周産期	1,434万円	㊤ 厚生労働省 委
婦人科悪性腫瘍に対する新たな治療法の開発に関する研究	吉川裕之	婦人・周産期	100万円	㊤ 厚生労働省 委
婦人科腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	吉川裕之	婦人・周産期	100万円	㊤ 厚生労働省 委
進行・再発子宮頸がんに対する標準的治療体系の確立に関する研究	吉川裕之	婦人・周産期	200万円	㊤ 厚生労働省 委
高感受性悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	吉川裕之	婦人・周産期	100万円	㊤ 厚生労働省 委
子宮頸部発がんの危険因子としての喫煙に関する研究	吉川裕之	婦人・周産期	200万円	㊤ 喫煙科学研究財団 委
新しく発見したメタスタシンの卵巣における作用機構の機能的組織学的研究 「基盤研究(C)」	臼杵 愨	婦人・周産期	80万円	㊤ 日本学術振興会 委
子宮頸癌及びその前癌病変に対する細胞性免疫を用いた新規治療法の基礎的研究	沖 明典	婦人・周産期	150万円	㊤ 日本学術振興会 委

10件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
子宮頸部に neoplastic な病変が ない HPV 感染者の自 然史の解明	佐藤豊実	婦人・周産期	70 万円	㊤ 日本学術振興会 委
周産期感染症におけ る S. saprophy t i c u s の病原 性の解析	小島真奈	婦人・周産期	210 万円	㊤ 文部科学省 委
蝸牛音響性障害の成 因の解明と治療に関 する研究	田淵経司	耳鼻咽喉科	240 万円	㊤ 文部科学省 委
感音難聴（内耳性難聴 の機序の解明と治療 法究明のための研究	辻 茂希	耳鼻咽喉科	50 万円	㊤ 文部科学省 委
術後心臓合併症発現 に及ぼす反射性循環 制御機構の役割	田中 誠	麻酔科	270 万円	㊤ 文部科学省 委
レンチウイルスベク ターを用いた難治性 疼痛に対する遺伝子 治療の基礎的研究	猪股伸一	麻酔科	50 万円	㊤ 日本学術振興会 委
酸化ストレスタンパ ク質コンディショナル ノックアウトマウス を用いた口腔病変の 解析	吉田 廣	歯・口腔外科	728 万円	㊤ 文部科学省 委
A170 遺伝子ノックア ウトマウスを用いた 頭蓋顎顔面骨病変の 解析	柳川 徹	歯・口腔外科	100 万円	㊤ 文部科学省 委
ペルオキシレドキシ ン I ノックアウトマ ウスを用いた骨形成 異常の解析	柳川 徹	歯・口腔外科	25 万円	㊤ 学内プロジェクト 委
陽子線を用いたがん 治療技術の開発及び その向上に関する研 究	徳植公一	放射線腫瘍科	130 万円	㊤ 厚生労働省 委

10 件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
陽子線治療におけるレンジ走査式ディスタル形状位置検出器の基礎的開発研究	安岡 聖	放射線腫瘍科	30万円	㊤ 文部科学省 委
抹消神経領域における拡散テンソルMRI及びトランスクリプターの基礎的検討	國松 聡	放射線 IVR	130万円	㊤ 文部科学省 委
肺がん病理学的研究	野口雅之	病理学的診断	780万円	㊤ 厚生労働省がん研究助成金 委
遠隔診断の技術を用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究	野口雅之	病理学的診断	180万円	㊤ 厚生労働科学研究費 委
肺腺がんおよびその背景病変の病理とがん発生要因の関係についての解析	森下由紀雄	病理学的診断	170万円	㊤ 厚生労働省がん研究助成金 委
ヒト肺腺がんの発がん初期に異常メチル化を示す発がん関連遺伝子の探索	飯嶋達生	病理学的診断	110万円	㊤ 科学研究費補助金(基盤研究(C)一般) 委
肝幹細胞特徴的発現遺伝子の機能解析と慢性肝炎・肝硬変診断への応用	加野准子	病理学的診断	170万円	㊤ 科学研究費補助金(基盤研究(C)一般) 委
前立腺各領域における腺上皮細胞特異的モノクローナル抗体の作成	稲留征典	病理学的診断	150万円	㊤ 科学研究費補助金(若手研究(B)) 委
ヒト肺腺癌の発癌初期に係わる発現遺伝子の網羅的解析	穴見洋一	病理学的診断	220万円	㊤ 科学研究費補助金(基盤研究(C)一般) 委

9件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
生活習慣病(メタボリックシンドローム)の早期体質診断と介入を目的としたAMP-activated protein kinase (AMPK)に関する研究	竹越一博	病理学的診断	90万円	㊦ 財団法人黒住医学研究振興財団 第14回研究助成金(2006) 委
アトピー性疾患の疾患感受性遺伝子同定に関する研究	有波忠雄 野口恵美子	遺伝	2,040万円	㊦ 厚生労働省 委

2件
109件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	診療グループ名
医学のあゆみ 2006; 217(6): 682-688	心臓再同期療法の実践と適応 と手技.	瀬尾由広、青沼和 隆	循環器 内科
循環器科 2006; 59 suppl.3: 414-425	動脈硬化性疾患の診断基準の標 準—虚血性心疾患	瀬尾由広、渡辺重 行	循環器 内科
ECHOCARDIOGRAPHY 2006; 23: 369-375	The wake of a large vortex is associated with intraventricular filling delay in impaired left ventricles with a pseudonormalized transmitral flow pattern.	Ishizu T, Seo Y, Ishimitsu T, Obara K, Moriyama N, Kawano S, Watanabe S, Yamaguchi I.	循環器 内科
Progress in Medicine 2006; 26(supple.1): 1499-1503	心不全薬物療法	瀬尾由広、河野 了、美崎昌子、久 賀圭祐、青沼和 隆、渡辺重行、山 口 巖.	循環器 内科
Circ J 2006; 70: 1290-1296	Peak C-reactive protein concentration correlates with left ventricular thrombus formation diagnosed by contrast echocardiographic left ventricular opacification in patients with a first anterior acute myocardial infarction.	Seo Y, Maeda H, Ishizu T, Ishimitsu T, Watanabe S, Aonuma K, Yamaguchi I.	循環器 内科
Circ J 2006; 70: 1629-1634	Echolucent carotid plaques as a feature in patients with acute coronary syndrome.	Seo Y, Watanabe S, Ishizu T, Moriyama N, Takeyasu N, Maeda H, Ishimitsu T, Aonuma K, Yamaguchi I.	循環器 内科

6件

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	診療ケ ル フ名
Am J Physiol Heart Circ Physiol 2006; 291: 835-845	Eicosapentaenoic acid prevents endothelin-1-induced cardiomyocyte hypertrophy in vitro through the suppression of TGF- β 1 and phosphorylated JNK.	Shimojo N, Jesmin S, Zaedi S, Maeda S, Soma M, Aonuma K, Yamaguchi I, Miyauchi T	循環器 内科
Eur J Pharmacol 2006; 542: 184-185	Down-regulated VEGF expression in the diabetic heart is normalized by an endothelin ETA receptor antagonist.	Jesmin S, Miyauchi T, Goto K, Yamaguchi I	循環器 内科
Hypertension 2006; 47:928-936	Polymorphism in endothelin-related genes limits exercise-induced decreases in arterial stiffness in older subjects.	Iemitsu M, Maeda S, Otsuki T, Sugawara J, Tanabe T, Jesmin S, Kuno S, Ajisaka R, Miyauchi T, Matsuda M	循環器 内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2006; 291: 1290-1298	Exercise training improves aging-induced downregulation of VEGF angiogenic signaling cascade in hearts	Iemitsu M, Maeda S, Jesmin S, Otsuki T, Miyauchi T	循環器 内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2006; 290:2146-2154	Subdepressor dose of benidipine ameliorates diabetic cardiac remodeling accompanied by normalization of upregulated endothelin system in rats.	Jesmin S, Hattori Y, Maeda S, Zaedi S, Sakuma I, Miyauchi T	循環器 内科
Journal of Pharmacological Society 2006; 101:151-158	Doxorubicin induces apoptosis by activation of caspase-3 in cultured cardiomyocytes in vitro and rat cardiac ventricles in vivo.	Ueno M, Kakinuma Y, Yuhki K, Murakoshi N, Iemitsu M, Miyauchi T, Yamaguchi Y	循環器 内科

6件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
J Appl Physiol 2006; 101:151-163	Activation pattern of MAPK signaling in the hearts of trained and untrained rats following a single bout of exercise	Iemitsu M, Maeda S, Jesmin S, Otsuki T, Kasuya Y, Miyauchi T	循環器内科
Current Eye Research 2006; 31:79-89	An endothelin type A receptor antagonist reverses upregulated VEGF and ICAM-1 levels in streptozotocin-induced diabetic rat retina.	Masuzawa K, Jesmin S, Maeda S, Kaji Y, Oshika T, Horii S, Goto K, Miyauchi T	循環器内科
Hypertension Research 2006; 29(2):65-73	Age-related reduction of systemic arterial compliance induces excessive myocardial oxygen consumption during sub-maximal exercise.	Otsuki T, Maeda S, Kesen Y, Yokoyama N, Tanabe T, Sugawara J, Miyauchi T, Kuno S, Ajisaka R, Matsuda M	循環器内科
Experimental Biology and Medicine 2006; 231(6):789-793	Effects of athletic strength and endurance exercise training in young humans on plasma endothelin-1 concentration and arterial distensibility.	Otsuki T, Maeda S, Iemitsu M, Saito Y, Tanimura Y, Ajisaka R, Goto K, Miyauchi T	循環器内科
Experimental Biology and Medicine 2006; 231(6):871-875	Time course alterations of myocardial endothelin-1 production during the formation of exercise training-induced cardiac hypertrophy.	Iemitsu M, Maeda S, Otsuki T, Goto K, Miyauchi T	循環器内科
Experimental Biology and Medicine 2006; 231(6):888-892	Effect of eicosapentaenoic acid on the different endothelin system components in endothelin-1-induced hypertrophied cardiomyocytes	Shimojo N, Jesmin S, Zaedi S, Soma M, Kobayashi T, Maeda S, Yamaguchi I, Goto K, Miyauchi T	循環器内科

6件

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	診療ケル -フ名
Experimental Biology and Medicine 2006; 231(6):902-906	Differential effects of selective endothelin type A receptor antagonist on the gene expression of vascular endothelial growth factor and its receptors in streptozotocin-induced diabetic heart.	Jesmin S, Zaedi S, Yamaguchi N, Maeda S, Shimojo N, Masuzawa K, Yamaguchi I, Goto K, Miyauchi T	循環器 内科
Experimental Biology and Medicine 2006; 231(6):907-912	Reversal of elevated cardiac expression of TGF β 1 and endothelin-1 in OLETF diabetic rats by long-acting calcium antagonist.	Jesmin S, Zaedi S, Maeda S, Mowa C, Sakuma I, Miyauchi T	循環器 内科
Experimental Biology and Medicine 2006; 231(6):913-918	EPA effect on NOS gene expression and on NO level in endothelin-1-induced hypertrophied cardiomyocytes.	Shimojo N, Jesmin S, Zaedi S, Soma M, Kobayashi T, Maeda S, Yamaguchi I, Goto K, Miyauchi T	循環器 内科
Experimental Biology and Medicine 2006; 231(6):919-924	Endothelin antagonism suppresses plasma and cardiac endothelin-1 levels in SHRSPs at the typical hypertensive stage.	Jesmin S, Zaedi S, Maeda S, Togashi H, Yamaguchi I, Goto K, Miyauchi T	循環器 内科
Experimental Biology and Medicine 2006; 231(6):925-931	Effects of a selective endothelin A receptor antagonist on the expressions of iNOS and eNOS in the heart of early streptozotocin-induced diabetic rats.	Jesmin S, Zaedi S, Maeda S, Yamaguchi I, Goto K, Miyauchi T	循環器 内科

5件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Experimental Biology and Medicine 2006; 231(6):932-936	Changes in important apoptosis-related molecules in the endothelin-1-induced hypertrophied cardiomyocytes: Effect of the pretreatment with eicosapentaenoic acid.	Shimojo N, Jesmin S, Zaedi S, Soma M, Maeda S, Yamaguchi I, Goto K, Miyauchi T	循環器内科
Experimental Biology and Medicine 2006; 231(6):992-996	Alterations in gene expressions encoding preproET-1 and NOS in pulmonary tissue in endotoxemic rats.	Zaedi S, Jesmin S, Maeda S, Shimojo N, Yamaguchi I, Goto K, Miyauchi T	循環器内科
Experimental Biology and Medicine 2006; 231(6):1034-1039	Effects of dual endothelin receptor antagonist on antiapoptotic marker Bcl-2 expression in streptozotocin-induced diabetic rats.	Jesmin S, Zaedi S, Yamaguchi N, Maeda S, Yamaguchi I, Goto K, Miyauchi T	循環器内科
Experimental Biology and Medicine. 2006; 231(6):1044-1047	Weight loss reduces plasma endothelin-1 concentration in obese men	Maeda S, Jesmin S, Iemitsu M, Otsuki T, Matsuo T, Ohkawara K, Nakata Y, Tanaka K, Goto K, Miyauchi T	循環器内科
Experimental Biology and Medicine 2006; 231(6):1058-1063	Alterations of gene expressions of preproET-1 and ET receptors in brains of endotoxemic sprague-dawley rats.	Shimojo N, Jesmin S, Zaedi S, Maeda S, Gando S, Yamaguchi I, Goto K, Miyauchi T	循環器内科
Experimental Biology and Medicine 2006; 231(6):1085-1089	A model of retinal ischemia-reperfusion injury in rats by subconjunctival injection of endothelin-1.	Masuzawa K, Jesmin S, Maeda S, Kaji Y, Oshika T, Zaedi S, Shimojo N, Yaji N, Miyauchi T, Goto K	循環器内科

6件

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	診療ケル -フ名
Experimental Biology and Medicine 2006; 231(6):1090-1094	Effect of endothelin dual receptor antagonist on VEGF levels in streptozotocin-induced diabetic rat retina.	Masuzawa K, Jesmin S, Maeda S, Zaedi S, Shimojo N, Miyuchi T, Goto K	循環器 内科
Hypertents Res 2006; 29(10): 759-765	Age-related reduction of systemic arterial compliance relates to decreased aerobic capacity during sub-maximal exercise.	Otsuki T, Maeda S, Sugawara J, Kesen Y, Murakami H, Tanabe T, Miyuchi T, Kuno S, Ajisaka R, Matsuda M	循環器 内科
Jpn J Phys Fitness Sports Med 2006; 55: 65-70	Basal gene expression of vascular endothelial growth factor-related transcriptional factors in rat skeletal muscle differs between slow and fast fiber types.	Otsuki T, Maeda S, Iemitsu M, Jesmin S, Miyuchi T	循環器 内科
International Journal of Sport and Health Sciences 2006; 4: 451-459	Gene expression profiling of exercise training-induced cardiovascular adaptations: molecular insight from microarray analyses.	Iemitsu M, Maeda S, Miyuchi T, Kuno S, Murakami K, Matsuda M	循環器 内科
Circulation Journal 2006; 70:657-661	Pharmacologic conversion of persistent atrial fibrillation into sinus rhythm with oral ilsicainide -Pilsicainide Suppression Trial for Persistent Atrial Fibrillation II -.	Okishige K, Fukunami M, Kumagai K, Atarashi H, Inoue H for the Pilsicainide Suppression Trial for Persistent Atrial Fibrillation II investigators	循環器 内科

5 件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Japanese Journal of Electrocardiology 2006; 26:73-78	運動誘発性非持続性心室頻拍を認めた中年女性の Brugada 症候群の 1 例.	田上和幸、石塚竜太郎、吉田健太郎、山崎 浩、黒木健志、久賀圭祐、青沼和隆、山口 巖、馬場 良	循環器内科
European Journal of Clinical Pharmacology 2006;62:919-926	Effect of CYP2D6 genotype on flecainide pharmacokinetics in Japanese patients with supraventricular tachyarrhythmia.	Doki K, Homma M, Kuga K, Kusano K, Watanabe S, Yamaguchi I, Kohda Y	循環器内科
「臨床心臓電気生理検査に関するガイドライン」2007; 70:1391-1475.	循環器病の診断と治療に関するガイドライン (2004 年度合同研究班報告)	山口 巖、相澤義房、井上博、石川利之、大江透、小川聡、奥村謙、笠貫宏、加藤貴雄、鎌倉史郎、小坂井嘉夫、小林洋一、杉 薫、高柳寛、中里祐二、渡辺一郎、家坂義人、岩佐篤、大西哲、久賀圭祐、熊谷浩一郎、小林義典、他	循環器内科
Circulation Journal 2007; 71:294-300	Dose-response effect of flecainide in patients with symptomatic paroxysmal atrial fibrillation and/or flutter monitored with trans-telephonic electrocardiography. - a multicenter, placebo,-controlled, double-blind trial -.	Atarashi H, Ogawa S, Inoue H, Hamada C for the Flecainide Atrial Fibrillation Investigators (keisuke Kuga et al.)	循環器内科
成人病と生活習慣病 2006; 36:1268-1277	系統的な心電図の読み方.	久賀圭祐	循環器内科
つくばスチューデントズ 2006;578:6-6	「メタボリック症候群」とは?	久賀圭祐	循環器内科

6 件

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	診療グル ープ名
クリニカルプラクティス 25 (2): 99-103	不整脈治療のマネジメント 非 薬物治療 カテーテルアブレー ション	熊谷浩司, 青沼 和隆	循環器 内科
Therapeutic Research 2006; 28(4):545-568	循環器病学の論点 -controversy in cardiology-	青沼和隆	循環器 内科
Pharma Medica 2006;25(5):41-46	心筋梗塞例の心室頻拍症	吉田健太郎, 青沼 和隆	循環器 内科
臨床心臓電気生理 2006;29: 37-50	詳細な Entrainment Mapping に より頻拍回路の同定が可能であ った Lower Loop Reentry の 1 例	吉田健太郎, 青 沼和隆, 相原英 明, 美崎昌子, 村越伸行, 金本 都, 鈴木章弘, 遠藤優枝, 久賀 圭祐, 山口巖, 関口幸夫, 山内 康熙, 横山泰廣, 高橋淳	循環器 内科
Progress in Medicine 2006;Suppl.1: 1504-1508	低心機能例におけるアミオダロ ンの位置づけ 心臓再同期療法 を含む新しいアプローチ CRT 療法	青沼和隆, 河野 了, 瀬尾由広, 吉田健太郎, 田 上和幸, 横山泰 廣, 久賀圭裕, 山口巖	循環器 内科
Heart View 2006;10 (5): 533-539	プライマリー不整脈疾患 その 病態理解から治療へ 診る プ ライマリー不整脈疾患の診断 その他の不整脈(short-coupled PVC 型心室細動, RVOT 型心室細 動, short QT 症候群)	山内康熙, 青沼 和隆	循環器 内科
臨床心臓電気生理 2006;29: 61-70	肺静脈隔離術後に生じた肺静脈 左房間リエントリー性頻拍の 1 例	山内康熙, 関口 幸夫, 鈴木篤, 樋口晃司, 大山 明子, 嘉納寛人, 大西健太郎, 久 佐茂樹, 宮本貴 庸, 尾林徹, 丹 羽明博, 青沼和 隆	循環器 内科

7 件

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	診療グル ープ名
精神神経学雑誌 2006;108 (8) : 792-800	抗うつ薬投与中にけいれん発作 を生じ、Brugada 症候群と診断さ れた 1 例 突然死につながる不 整脈と抗うつ薬の関係	遠藤剛, 堀孝文, 谷向知, 相原英 明, 青沼和隆, 朝田隆	循環器 内科
医学のあゆみ 2006;218(14) : 1217-1221	心不全 UPDATE 心不全における 不整脈の発症機序と治療戦略 頻脈性不整脈を伴う心不全患者 に対するカテーテルアブレーシ ョン治療	田上和幸, 青沼 和隆	循環器 内科
Progress in Medicine 2006;26(9) : 2358-2361	ICD 患者への amiodarone, d, l-sotalol 投与に 関する自験例の検討	横山泰廣, 青沼 和隆, 宮崎晋介, 高橋淳, 山口巖	循環器 内科
Modern Physician 2006;26(10) : 1614-1618	管理不良不整脈へのアプローチ 難治性不整脈にどう対処するか カテーテルアブレーションによ る難治性不整脈治療戦略 器質 的心疾患に合併する心室頻拍に 対するカテーテルアブレーショ ン	吉田健太郎, 青 沼和隆	循環器 内科
成人病と生活習慣病 2006;36(11) : 1371-1376	21 世紀の不整脈診療 カテー テル治療のトピックス	関口幸夫, 青沼 和隆	循環器 内科
J Card Surg 21 : 421-422, 2006	Biventricular repair of Ebstein' s anomaly with pulmonary atresia in a low birth weight neonate	Yuji Hiramatsu Mio Noma Hitoshi horigome Miho Takahashi-Igari Yuzuru Sakakibara	循環器 外科
J Arrhythmia 22 : 2, 119-121, 2006	Late post-operative perforation of the right ventricle by a tined pacing lead	Mio Noma Yoshiharu Enomoto Shounosuke Matsushita Yuji Hiramatsu Osamu Shigeta Masahiro Toyama Yuzur Sakakibara	循環器 外科

7 件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Int J Clin Oncol 11 : 243-245, 2006	Carcinomatous meningitis from non-small-cell lung cancer responding to gefitinib	Mitsuaki Sakai Shigemi Ishikawa Hiromichi Ito Yuichiro Ozawa Tatsuo Yamamoto Masataka Onizuka Yuzuru Sakakibara.	循環器 外科
Ann Thorac Suge 82 : 1101-3, 2006	Chronic post-traumatic pseudoaneurysm of the brachiocephalic artery with tracheal obstruction resulting in repeated pneumonia	Hiroaki Sakamoto Takashi hattori Yasunori Watanabe Yuzuru Sakakibara.	循環器 外科
日本血栓止血学会誌 17 : 695-705. 2006	先天性第 VII 因子欠乏症患者に対する遺伝子組換え活性型第 VII 因子製剤（注射用ノボセプトン®）の有効性と安全性	花房秀次, 大山和成, 渡辺 智, 榊原 謙, 平松 祐司, 新福 玄二, 高木 洋行, 佐藤 公浩, 坂部 秀明, 中谷 浩, 日笠 聡, 澤田 暁宏, 西川 哲夫, 伊藤 啓二郎, 高宮 脩, 吉岡 章.	循環器 外科
脈管学 46 : 49-53, 2006	ラットにおける冠動脈 LAD 結紮モデルの作成と放射光血管撮影による評価法	今水流智浩, 松下 昌之助; 兵藤 一行, 秋島 信二, 佐藤 藤夫, 野間 美緒, 平松 祐司, 重田 治, 榊原 謙.	循環器 外科
日本泌尿学会雑誌 97:752-756, 2006	長期尿管ステント留置中に生じた両側尿管総腸骨動脈瘻の 1 例	安東 聡, 服部 一紀, 遠藤 剛, 稲井 広夢, 松枝 清, 今水流智浩, 榊原 謙, 河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之.	循環器 外科

5 件

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	診療ケル ーフ名
Hemorheol Relat Res 9 : (1), 3-5, 2006	組織因子は in vitro 体外循環 中の好中球変形能劣化を助長す る	松崎寛二, 平松 祐司, 本間 覚, 佐藤晶子, 阿部正 一, 金本真也, 榑 原 謙.	循環器 外科
日本小児循環器 学会雑誌 22:18-22, 2006	心筋電極による小児期ペースメ ーカー治療の経験 心筋電極選 択の妥当性についての検討	野間美緒, 平松 祐司, 堀米仁志, 高橋美穂, 榑原 謙.	循環器 外科
Hepatology.	Involvement of integrin-linked kinase in carbon tetrachloride-induced hepatic fibrosis in rats.	Zhang Y, Ikegami T, Hyodo I, Matsuzaki Y.	消化器 内科
Jpn J Clin Oncol.	A phase II Study of the global dose and schedule of capecitabine in Japanese patients with metastatic colorectal cancer.	Hyodo I.	消化器 内科
J Gastroenterol.	Promise of definitive chemoradiotherapy for esophageal cancer balanced with late radiation toxicity: an old but new issue.	Hyodo I.	消化器 内科
Br J Cancer.	Phase I/II study of docetaxel and S-1 in patients with advanced gastric cancer.	Hyodo I.	消化器 内科
J Clin Gastroenterol.	Predictive factors of lymph node metastasis in patients with undifferentiated early gastric cancers.	Hyodo I.	消化器 内科
Int J Clin Oncol.	Timing of significant adverse events is essential information during early development of new drugs.	Hyodo I.	消化器 内科

8 件

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	診療ケ ー プ名
J Pain Symptom Manage.	for the Japan Palliative Oncology Study Group. Artificial hydration therapy, laboratory findings, and fluid balance in terminally ill patients with abdominal malignancies.	Hyodo I.	消化器 内科
Anticancer Drugs.	Phase II study of a 4-week capecitabine regimen in advanced or recurrent gastric cancer.	Hyodo I.	消化器 内科
<i>Alimentary Pharmacology & Therapeutics</i>	Helicobacter pylori eradication and metachronous gastric cancer after endoscopic mucosal resection of early gastric cancer.	Nakagawa S, Asaka M, Yanaka A	消化器 内科 (光 学医療 診療部)
Hepatology Res.	Bezafibrate induces multidrug-resistance P-glycoprotein 3 expression in cultured human hepatocytes and humanized livers of chimeric mice.	Shoda J, Okada J, Inada Y, Kusama H, Utsunomiya H, Oda K, Yokoi T, Yoshizato K Suzuki H.	消化器 内科
Am J Physiol.	Inchinkoto, an herbal medicine, and its ingredients dually exerts Mrp2/MRP2-mediated choleresis and Nrf2-mediated antioxidative action in rat livers.	Okada K, Shoda J, Kano M, Suzuki S, Ohtake N, Yamamoto M, Takahashi H, Utsunomiya H, Oda K, Sato K, Watanabe A, Ishii T, Itoh K, Yamamoto M, Yokoi T, Yoshizato K, Sugiyama Y, Suzuki H	消化器 内科

5 件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Drugs of the future.	Inchin-ko-to and its ingredients as a potential therapeutic approach for the treatment of cholestatic liver diseases.	Yamamoto M, Shoda J	消化器内科
Frontiers in Bioscience.	Molecular pathogenesis of hepatolithiasis - A type of low phospholipid-associated cholelithiasis.	Shoda, J, Osuga, T.	消化器内科
Clin. Cancer Res.	E1A, E1B Double Restricted Adenovirus with RGD Fiber Modification Exhibits Enhanced Oncolysis for CAR Deficient Biliary Cancers	Abei M.	消化器内科
看護技術	TPN中の合併症を防ぐインスリンセラピー	寺島秀夫	消化器外科
看護技術	TPN versus EN-最新のエビデンス	寺島秀夫	消化器外科
看護技術	輸液管理とは何か-その基礎から応用力をマスターする-	寺島秀夫	消化器外科
看護技術	輸液管理における感染対策のエビデンス	寺島秀夫	消化器外科
卒後5年でマスターする消化器標準手術	消化管吻合、血管縫合	寺島秀夫	消化器外科
胆と膵	3D-integrated CTと高精度画像解析装置による肝門部胆管解剖と術式選択	佐々木亮孝	消化器外科
International Seminars in Surgical Oncology	A long-term survivor of repeated inguinal nodes recurrence of papillary serous adenocarcinoma of CUP: case report	Todoroki Takeshi	消化器外科
特願 2006-333692	肝線維化抑制剤	大河内信弘	消化器外科
Am. J Respir Cirt Care Med 174:142-151, 2006	Transcription Factors T-bet and GATA-3 Regulate Development of Airway Remodeling	Takumi K Yukio I.	呼吸器内科

12件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Am. J. Pathol 169(1) : 2006	Overexpression of the Transcription Factor GATA-3 Enhances the Development of Pulmonary Fibrosis	Toru K Yukio I	呼吸器 内科
Med. Oncol 23:75-82, 2006	Simultaneous measurements of KL-6 and SP-D in patients with undergoing thoracic radiotherapy	Matsuno H Sato H	呼吸器 内科
Radiol. Oncol. 40 : 239-244、 2006	Body mass index and lung cancer risk in never smokers.	Kagohashi K. Sato H	呼吸器 内科
Respirology 11 : 835, 2006	Gefitinib is an additional prognostic factor among metastatic lung adenocarcinoma.	Kagohashi K. Sato H	呼吸器 内科
Acta Physiol 188: 139-149. 2006	New method for evaluation of lung lymph flow rate with intact lymphatics in anaesthetized sheep.	Naito, T., Sakai, M., Yamamoto, T., Ishikawa, S., Onizuka, M	呼吸器 外科
Surg Today. 36(6) : 534-7. 2006	Excision after chemoradiotherapy of invasive thymoma extending into the right atrium: report of a case.	Ichimura H, Onizuka M	呼吸器 外科
Surg Today 36:382-384. 2006	Effectiveness of treatment for hoarsness cause by idiopathic fibrosing mediastinitis.	Ichimura H, Ishikawa S, Yamamoto T, Onizuka M	呼吸器 外科
Cancer. 106(8) : 1751-8. 2006	Hypermethylation of the TSLC1/IGSF4 promoter is associated with tobacco smoking and poor prognosis in primary nonsmall cell lung carcinoma	Kikuchi S, Onizuka M	呼吸器 外科
Int J Clin Oncol, 11:243-245 2006	Carcinomatous meningitis from non-small-cell lung cancer responding to gefitinib.	Sakai M, Ishikawa S, Yamamoto T, Onizuka M	呼吸器 外科

9件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Nephron Clinical Practice 103:c71-c76, 2006	Electron paramagnetic resonance imaging of oxidative stress in renal disease.	Hirayama A. Nagase S.	腎臓内科
Acta Physiologica 186:119-125, 2006	Effect of spontaneous exercise on antioxidant capacity in rat muscles determined by electron spin resonance.	Tanabe K. Masuda K. Hirayama A. Nagase S. Kono S. Kuno S.	腎臓内科
International Journal of Sport and Health Science 4(special issue2): 515-527, 2006	Relationships between age, daily activity, antioxidant capacity and oxidative stress among middle-aged and elderly people.	Tanabe K. Masuda K. Ajisaka R. Matsuda M. Hirayama A. Nagase S. Kono S. Kuno S.	腎臓内科
Nephron Clinical Practice (in press)	Elimination of lipid peroxide during hemodialysis.	Obara M. Hirayama A. Gotoh M. Ueda A. Ishizu T. Taru Y. Shimozawa Y. Yamagata K. Nagase S. Koyama A.	腎臓内科
The proceedings of the XIII congress of the society for free radical research international. Medimond International Proceedings. 273-277, 2006	Nitric oxide from inducible nitric-oxide synthase dose not exacerbate adriamycin-induced tubulointerstitial injury.	Oteki T. Nagase S. Hirayama A. Ueda A. Ykoyama H. Yoshimura T.	腎臓内科
Mol. Ther. 15(3):560-565	Stable transgene expression in mice generated from netcorirally transduced embryonic stem cells.	Usui J.	腎臓内科

6件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Clin Exp Nephrol 10(3):216-221, 2006	Tubulointerstitial nephritis and uveitis syndrome associated with hyperthyroidism.	Ebihara I. Hirayama K. Usui J. Seki M. Yamagata K.	腎臓内科
Blood 107(11): 4317-4325, 2006	Genetic marking of hematopoietic stem and endothelial cells: identification of the <i>Tmtsp</i> gene encoding a novel cell surface protein with the thrombospondin-1 domain	Usui J.	腎臓内科
Kidney Int. 69(7):1146-1152 2006	Mitochondrial dysfunction in focal segmental glomerulosclerosis of puromycin aminonucleoside nephrosis.	Hagiwara M. Yamagata K. Capaldi RA. Koyama A.	腎臓内科
J Nephrol. 19(2):215-219, 2006	Post-MRSA infection glomerulonephritis with marked <i>Staphylococcus aureus</i> cell envelope antigen deposition in glomeruli.	Kai H. Shimizu Y. Hagiwara M. Yoh K., Hirayama K. Yamagata K. Ohba S. Nagata M. Koyama A.	腎臓内科
Nephrol Dial Transplant. 21(6):1582-1587, 2006	Tissue-specific distribution of an alternatively spliced COL4A5 isoform and non-random X chromosome inactivation reflect phenotypic variation in heterozygous X-linked Alport syndrome.	Shimizu Y. Nagata M. Usui J. Hirayama K. Yoh K. Yamagata K. Kobayasi M. Koyama A.	腎臓内科

5件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Nephrol Dial Transplant. 21(5):1448-1449, 2006	Polyclonal activation of IgA subclass against <i>Staphylococcus aureus</i> cell membrane antigen in post-methicillin-resistant <i>S. aureus</i> infection glomerulonephritis.	Arakawa Y. Shimizu Y. Sakurai H. Kawamura S. Hashimoto Y. Kai H. Hagiwara M. Usui J. Yoh K. Hirayama K. Yamagata K. Koyama A.	腎臓内科
Clin Exp Nephrol 11(1):41-50 2007	Estimation of glomerular filtration rate by the MDRD study equation modified for Japanese patients with chronic kidney disease.	Imai E. Horio M. Nitta K. Yamagata K. Iseki K. et al.	腎臓内科
Nippon Jinzo Gakkai Shi 49(2):82-87, 2007	Pathological roles of mitochondrial dysfunction in podocyte injury.	Yamagata K. Hagiwara M.	腎臓内科
Kidney Int. 71(2):159-166, 2007	Risk factors for chronic disease in a community-based population : a 10-year follow-up study.	Yamagata K. Ishida K. Sairenchi T. Takahashi H. Ohba S. Shiigai T. Narita M. Koyama A.	腎臓内科
Ren Fail 28(6):519-522, 2006	Chronic renal failure with severe mesangiolytic in a hematopoietic stem cell transplant recipient.	Nishi H. Tomida C. Gotoh M. Yamagata K. Ohba S. Nagata M. Koyama A.	腎臓内科

5件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Nippon Rinsho 64(suppl 2): 422-426, 2006	Focal segmental glomerulosclerosis : Patogenesis, pathophysiology, and therapy.	Hirayama K. Hagiwara M. Yamagata K. Koyama A.	腎臓内 科
Nippon Rinsho 64(suppl 2): 403-407, 2006	Rapidly progressive glomerulonephritis (RPGN) : Patogenesis, pathophysiology, and therapy.	Shimizu Y. Yamagata K. Koyama A.	腎臓内 科
BJU Int 99 (supl 1): 6-9, 2007	Global update on defining and treating high-risk localized prostate cancer with leuprorelin: an Asian perspective	Mizokami A, Namiki M, Akaza H	腎泌尿 器外科
BJU Int 99 (Supl 1):10-12, 2007	Global update on defining and treating high-risk localized prostate cancer with leuprorelin: a Japanese perspective - the effect of primary androgen deprivation therapy on stage C prostate cancer	Akaza H	腎泌尿 器外科
Int J Urol 14:54-59, 2007	Long-term results of first-line sequential high-dose carboplatin, etoposide and ifosfamide chemotherapy with peripheral blood stem cell support for patients with advanced testicular germ cell tumor	Akaza H, The Japan Blood Cell Transplantation Study Group for Testicular Germ Cell Tumor	腎泌尿 器外科
J Urol 176:S47-S49, 2006	Case for Androgen Deprivation as Primary Therapy for Early Stage Disease: Results From J-CaP and CaPSURETM	Akaza H, Hinotsu S, Namiki M	腎泌尿 器外科
Int J Urol 13:1514-1518, 2006	Tissue elasticity imaging for diagnosis of prostate cancer: A preliminary report	Miyanaga N, Akaza H, Shimazui T	腎泌尿 器外科
Int J Urol 13:1539-1541, 2006	Splenogonadal fusion: Case report and review of published works	Ando S, Shimazui T, Kuriyagawa K, Akaza H	腎泌尿 器外科
Jpn J Clin Oncol 36 (11):723-730, 2006	Treatment outcome of metastatic testicular cancer at a single institution in Japan, a country with low incidence of germ cell tumor	Kawai K, Hinotsu S, Shimazui T, Akaza H	腎泌尿 器外科
Int J Clin Oncol 11:434-440, 2006	A low-dose combination therapy of interleukin-2 and interferon- α is effective for lung metastasis of renal cell carcinoma: a multicenter open study	Akaza H, Kinouchi T, Naito S	腎泌尿 器外科

10件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Int J Urol 13:1276-1279, 2006	How many uncomplicated male and female overactive bladder patients reveal detrusor overactivity during urodynamic study?	Sekido N, Shimazui T, Akaza H	腎泌尿器外科
Jpn J Clin Oncol 36(10):665-667, 2006	A case of metastatic testicular cancer complicated by tumour lysis syndrome and choriocarcinoma syndrome	Kawai K, Shimazui T, Akaza H	腎泌尿器外科
BJU Int 98(3):573-579, 2006	Efficacy of primary hormone therapy for localized or locally advanced prostate cancer: results of a 10-year follow-up	Akaza H, Aso Y, the Prostate Cancer Study Group	腎泌尿器外科
Jpn J Clin Oncol 36(7):425-431, 2006	Completion and toxicity of induction chemotherapy for metastatic testicular cancer: An updated evaluation of Japanese patients	Kawai K, Shimazui T, Akaza H	腎泌尿器外科
J Cancer Res Clin Oncol 132:499-504, 2006	Prospective randomized trial of natural interferon-alpha versus natural interferon-alpha plus cimetidine in advanced renal cell carcinoma with pulmonary metastasis	Kinouchi T, Akaza H, Immunotherapy Oncology Group for Renal Cell Carcinoma	腎泌尿器外科
BJU Int 97(5):997-1001, 2006	Institutional variability in the accuracy of urinary cytology for predicting recurrence of transitional cell carcinoma of the bladder	Karakiewicz PI., Akaza H, Miyayama N, Shariat SF.	腎泌尿器外科
Int J Radiat Oncol Biol Phys 64(5):1371-1379, 2006	Proton beam therapy for invasive bladder cancer: A prospective study of bladder-preserving therapy with combined radiotherapy and intra-arterial chemotherapy	Hata M, Miyayama N, Akaza H, Akine Y	腎泌尿器外科
Int J Urol 13:529-537, 2006	Bladder reconstruction using a collagen patch prefabricated within the omentum	Hattori K, Akaza H	腎泌尿器外科
BJU Int 97:860-864, 2006	Uroepithelial cells can directly respond to mycobacterium bovis bacillus calmette-guerin through toll-like receptor signalling	Miyazaki J, Akaza H	腎泌尿器外科
J Urol 173:1518-1525, 2005.	Nomograms including nuclear matrix protein 22 for prediction of disease recurrence and progression in patients with Ta, T1 or CIS transitional cell carcinoma of the bladder	Shariat SF, Akaza H	腎泌尿器外科

10件

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	診療ケル -フ名
Int J Urol 12:751-756, 2005.	Serum creatinine and cholesterol levels of testicular cancer patients in long-term follow up	Hisamatsu E, Akaza H	腎泌尿 器外科
Int J Urol 12:765-767, 2005.	Retroperitoneal extragonadal germ cell tumor in a patient with Klinefelter' s syndrome	Inai H, Akaza H	腎泌尿 器外科
Intern Med 44:1084-1087, 2005.	Acute multifocal bacterial nephritis complicated with acute renal failure and thrombocytopenia	Muto H, Akaza H	腎泌尿 器外科
J Nephrol 18:436-441, 2005.	Crescentic glomerulonephritis associated with renal cell carcinoma after cancer immunotherapy	Kai H, Akaza H	腎泌尿 器外科
泌尿器外科 18:1381-1384, 2005.	Ho-YAG レーザーにて切除し得た尿管ポリープの1例	宮川友明, 赤座英之	腎泌尿 器外科
J Urol 175:348-352, 2006	Persistence of prostatic intraepithelial neoplasia after effective chemoprevention of microscopic prostate cancer with antiandrogen in a rat model	Yamauchi A, Akaza H	腎泌尿 器外科
JJCO 36:60-63, 2006.	Neutropenic colitis during standard dose combination chemotherapy with nedaplatin and irinotecan for testicular cancer	Takaoka E, Akaza H	腎泌尿 器外科
Cancer Sci 97:243-247, 2006	Trends in primary androgen depletion therapy for patients with localized and locally advanced prostate cancer: Japanese perspective	Akaza H	腎泌尿 器外科
J Thromb Haemost 4:581-586, 2006.	Incidence of venous thromboembolism following major abdominal surgery: a multi-center, prospective epidemiological study in Japan	Sakon M, Akaza H	腎泌尿 器外科
Urology 67:545-549, 2006.	Sustained prophylactic effect of intravesical bacille calmette-guerin for superficial bladder cancer: A smoothed hazard analysis in a randomized prospective study	Hinotsu S, Akaza H	腎泌尿 器外科
日泌尿会誌 97:64-67, 2006.	下血を契機に発見された, 両側副腎, 小腸転移を伴った腎細胞癌の1例	安東 聡, 赤座英之	腎泌尿 器外科

11 件

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	診 療 グ ル ー プ 名
Diabetes Metab Res Rev. 22: 38-45, 2006	Antioxidants and an inhibitor of advanced glycation ameliorate death of retinal microvascular cells in diabetic retinopathy.	Yatoh S, Mizutani M, Yokoo T, Kozawa T, Sone H, Toyoshima H, Suzuki S, Shimano H, Kawakami Y, Okuda Y, Yamada N.	内 分 泌 代 謝 ・ 糖 尿 病 内 科
Nature Medicine 12(1): 107-113, 2006	TPE3 transcriptionally activates hepatic IRS-2, participates in insulin signaling and ameliorates diabetes.	Nakagawa Y, Shimano H, Yoshikawa T, Ide T, Mariko Tamura M, Furusawa M, Yamamoto T, Inoue N, Matsuzaka T, Takahashi A, Hasty A-H, Suzuki H, Sone H, Toyoshima H, Yahagi N, Yamada N.	内 分 泌 代 謝 ・ 糖 尿 病 内 科
Diabetes 55: 2091-2097, 2006:	Identification of a Novel Member of the Carboxylesterase Family That Hydrolyzes Triacylglycerol: A Potential Role in Adipocyte Lipolysis.	Okazaki H, Igarashi M, Nishi M, Tajima M, Sekiya M, Okazaki S, Yahagi N, Ohashi K, Tsukamoto K, Amemiya- Kudo M, Matsuzaka T, Shimano H, Yamada N, Aoki J, Morikawa R, Takanezawa Y, Arai H, Nagai R, Kadowaki T, Osuga J, Ishibashi S.	内 分 泌 代 謝 ・ 糖 尿 病 内 科

3 件

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	診療ク ^ル ープ名
Cell Metabolism 4: 143-154, 2006.	Granuphilin is activated by SREBP-1c and involved in impaired insulin secretion in diabetic mice.	Kato T, Shimano H, Yamamoto T, Yokoo T, Endo Y, Ishikawa M, Matsuzaka T, Nakagawa Y, Kumadaki S, Yahagi N, Takahashi A, Sone H, Suzuki H, Toyoshima H, Hastly AH, Takahashi S, Gomi H, Izumi T, Yamada N.	内分泌代謝・糖尿病内科
J Atheroscler Thromb 13(6): 329-335, 2006	Distinct Effects of Pravastatin, Atorvastatin, and Simvastatin on Insulin Secretion from a β -cell Line, MIN6 Cells.	Ishikawa M, Okajima F, Inoue N, Motomura K, Kato T, Takahashi A, Oikawa S, Yamada N, Shimano H.	内分泌代謝・糖尿病内科
J Endocrinol 189(3): 643-653, 2006	The effect of exercise training on adiponectin receptor expression in KKAY obese/diabetic mice.	Huang H, Iida KT, Sone H, Yokoo T, Yamada N, Ajisaka R.	内分泌代謝・糖尿病内科
FASEB J 20(14): 2642-2644, 2006	Regulation of hepatic cholesterol synthesis by a novel protein (SPF) that accelerates cholesterol biosynthesis.	Shibata N, Jishage K, Arita M, Watanabe M, Kawase Y, Nishikawa K, Natori Y, Inoue H, Shimano H, Yamada N, Tsujimoto M, Arai H.	内分泌代謝・糖尿病内科
J Clin Biochem Nutr 40: 123-30, 2007	Abdominal irradiation ameliorates obesity in ob/ob mice.	Okada S, Kobayashi K, Ishikawa M, Inoue N, Yamada N, Shimano H.	内分泌代謝・糖尿病内科

5 件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Int J Mol Med 17(1):101-109, 2006	T cell receptor BV gene repertoire of lymphocytes in bronchoalveolar lavage fluid of Polymyositis / Dermatomyositis patients with interstitial pneumonitis	Chino Y, Murata H, <u>Goto D</u> , <u>Matsumoto I</u> , <u>Tsutsumi A</u> , Sakamoto T, Ohtsuka M, Sekisawa K, <u>Ito S</u> , <u>Sumida T</u> .	膠原病 リウマチ アレルギー 内
Ann. Rheum. Dis. 65: 269-271, 2006	Altered peptide ligands regulate muscarinic acetylcholine receptor reactive T cells of patients with Sjogren' s Syndrome	Naito Y, <u>Matsumoto I</u> , <u>Wakamatsu E</u> , <u>Goto D</u> , <u>Ito S</u> , <u>Tsutsumi A</u> , <u>Sumida T</u> :	膠原病 リウマチ アレルギー 内
Int. J. Mol. Med. 17(5)801-809, 2006	Gene transduction of tristetraprolin or its active domain reduces TNF- α production in Jurkat T cells.	Suzuki E, <u>Tsutsumi A</u> , <u>Goto D</u> , <u>Matsumoto I</u> , <u>Ito S</u> , Otsu M, Onodera M, Takahashi S, Sato Y, <u>Sumida T</u> .	膠原病 リウマチ アレルギー 内
Int. J. Mol. Med. 18:273-278, 2006	Expression of TNF- α , tristetraprolin, T-cell intracellular antigen-1 and Hu antigen R genes in synobium of patients with rheumatoid arthritis.	Suzuki E, <u>Tsutsumi A</u> , Sugihara M, Mamura M, <u>Goto D</u> , <u>Matsumoto I</u> , <u>Ito S</u> , Ikeda K, Ochiai N, Sato Y, <u>Sumida T</u> .	膠原病 リウマチ アレルギー 内
Arthritis Rheum 54:3476-3484, 2006	Overexpression of phosphorylated stat1- α in labial salivary glands of patients with Sjogren' s Syndrome	Wakamatsu E, <u>Matsumoto I</u> , Yasukochi T, Naito Y, <u>Goto D</u> , Mamura M, <u>Ito S</u> , <u>Tsutsumi A</u> , <u>Sumida T</u> .	膠原病 リウマチ アレルギー 内

5件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Nature. 441(7096):1015-1019, 2006	Smad4 signalling in T cells is required for suppression of gastrointestinal cancer	Byung-Gyu Kim, Cuiling Li, Wenhui Qiao, <u>Mizuko Mamura</u> , Barbara Kasperczak, Miriam Anver, Lawrence Wolfraim, Suntaek Hong, Elizabeth Mushinski, Michael Potter, Seong-Jin Kim, Xin-Yuan Fu, Chuxia Deng, John J. Letterio.:	膠原病 リウマ チアレ ルギー 内
Bone Marrow Transplant 2006; 38:237-242	A prospective study to evaluate a new dental management protocol before hematopoietic stem cell transplantation	長谷川雄一、小島 寛	血液
Int J Hematol 2006; 84:182-185.	Successful treatment of a patient with POEMS syndrome by tandem high-dose chemotherapy with autologous CD34-positive purged stem cell rescue.	小島 寛、鈴木和 己、長谷川雄一	血液
J Thromb Haemost 2006; 4:2433-2442.	Characterization of a patient with glycoprotein VI (GPVI)-deficiency possessing neither anti-GPVI autoantibody nor genetic aberration.	小島 寛、鈴木和 己	血液
Jpn J Clin Oncol 2006; 36:723-730	Treatment outcome of metastatic testicular cancer at a single institution in Japan, a country with low incidence of germ cell tumor.	長谷川雄一、小島 寛	血液

5件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
J Infect Chemother 2006; 12:391-395.	Quinupristin/dalfopristin and voriconazole controlled Staphylococcus epidermidis pneumonia and chronic necrotizing aspergillosis in a patient with severe lung degradation consequent to multiple treatments for Hodgkin's lymphoma.	金子 新、大越 靖、向井陽美	血液
Bone Marrow Transplant. 2007; 39:513-514.	Hepatosplenic alphabeta T-cell lymphoma successfully treated with allogeneic bone marrow transplantation	大越 靖、金子 新、小原 直	血液
Pathol Int 2007; 57:108-114.	Gastric T-cell lymphoma with cytotoxic phenotype	小島 寛	血液
1. Pathol Int 2007; 57:53-59.	Development-dependent expression of cyclin D3 in precursor T-cell lymphoblastic leukemia/lymphoma	長谷川雄一、小島 寛	血液
Bipolar Disorder 4 : 13-18, 2006	反復経頭蓋磁気刺激が著効した難治性双極性障害の1例-維持療法付加の試み-	片野綱大、川西洋一、水上勝義、朝田隆	精神神経科
臨床精神医学 35 : 1363-1369、2006	気分障害患者に対する反復経頭蓋磁気刺激 (rTMS) の有効性と安全性	中村 大介、川西洋一、水上 勝義、朝田 隆	精神神経科
臨床精神医学 35 : 1371-1376、2006	気分障害患者に対する反復経頭蓋磁気刺激 (rTMS) による維持療法の試み	片野 綱大、川西洋一、水上 勝義、朝田 隆	精神神経科
Exp Dermatol 2007;16:143-50	The combination of ubiquitous transcription factors AP-1 and Sp1 directs keratinocyte-specific and differentiation-specific gene expression in vitro.	Fujio Otsuka	皮膚科
J Am Acad Dermatol 2007;56:873-7	Deep cutaneous infection by Fusarium solani in a healthy child successful treatment with local heat therapy.	Fujio Otsuka	皮膚科
Eur J Dermatol 2007;17:94-5	IgA/IgG pemphigus positive for anti-desmoglein 1 autoantibody.	Fujio Otsuka	皮膚科

10件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
J Am Acad Dermatol 2006;55(5 Suppl):S81-5	Chemoradiation using low-dose cisplatin and 5-fluorouracil in locally advanced squamous cell carcinoma of the skin: a report of two cases.	Fujio Otsuka	皮膚科
Br J Dermatol 2006;154:375-6	Metastatic extramammary Paget's disease successfully controlled with tumor dormancy therapy using docetaxel.	Fujio Otsuka	皮膚科
日皮会誌 2007;117:31-5	高発癌性皮膚疾患 遺伝と皮膚癌 高発癌遺伝性皮膚疾患としての汗孔角化症	大塚藤男	皮膚科
Pediatr Surg Int 22:289-292, 2006	Rare association of severe hypoplasia of the abdominal aorta with imperforate anus, colonic atresia and choledochal cyst	Hiroaki Komuro, Tetsuo Hori, Michio Kaneko et al.	小児外科
小児外科 38:621-626, 2006	神経芽腫群腫瘍の病理組織学的分類 - International Neuroblastoma Pathology Classification.	小林千恵、金子道夫、他	小児外科
外科 68(4):442-447, 2006	成人期に達した小児外科手術症例の現状	金子道夫、他	小児外科
J Immunol 176:3461-3469, 2006	Superior protective and therapeutic effects of IL-12 and IL-18 gene-transduced dendritic neuroblastoma fusion cells on liver metastasis of murine neuroblastoma.	Hisae Iinuma, Michio Kaneko et al.	小児外科
Transplantation 2006 Jun 15;81(11):1589-95	Immunomodulatory effects of mesenchymal stem cells in a rat organ transplant model.	Inoue S, et al.	小児外科
Paediatric Anesth, 16:1285-1288, 2006	MYCN gene amplification is a powerful prognostic factor even in infantile neuroblastoma detected by mass screening	Tomoko Iehara, Michio Kaneko, et al	小児外科

9件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
J Plast Reconst & Aesth Surg 59:752-758, 2006	A new surgical method for treating lateral ray polydactyly with brachydactyly of the foot	Togashi S	形成外科
Ophthal Plast Reconst Surg 22(4):299-301, 2006	Conjunctival Squamous Cell Carcinoma of the Orbit 40 Year After Enucleation	Endo T	形成外科
形成外科 49(11):1272-1275, 2006	簡単で確実な患肢挙上シーネの作製方法	富樫真二	形成外科
J Neurosci Res. 54: 24-29, 2006	Beta-site APP cleaving enzyme 1 (BACE1) is increased in remaining neurons in Alzheimer's disease brains	Tamaoka A	脳神経内科
Neurology 66:131-132, 2006	Upward gaze-evoked nystagmus with organoarsenic poisoning	Nakamagoe K Tamaoka A	脳神経内科
臨床神経 46: 768, 2006	茨城県神栖町における有機砒素中毒の臨床神経学的検討	石井一弘	脳神経内科
JMDD 16: 1-6, 2006	慢性血液透析患者における restless legs syndrome の調査	渡邊雅彦	脳神経内科
J Neurochem. 98:518-29, 2006	Sodium channel beta4 subunit: down-regulation and possible involvement in neuritic degeneration in Huntington's disease transgenic mice	Oyama F	脳神経内科
Clin Pharmacology & Therapeutics 80:715-720, 2006	Drug interaction of tizanidine and ciprofloxacin: Case report	Momo K	脳神経内科
Journal of the Neurological Sciences 254:44-48, 2007	A Japanese family with early-onset ataxia with motor and sensory neuropathy	Takuma H	脳神経内科
神経内科 64:355-360, 2006	Stiff-person 症候群の病因	石井亜紀子	脳神経内科
Pediatr Neurosurg	Excision of juvenile pilocytic astrocytoma of the midbrain after radiotherapy	Tsuboi K	脳神経外科
J Clinical Neuroscience	Brain abscess following intracerebral haemorrhage	Nakai K	脳神経外科

13 件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
C I 研究	赤外線蛍光によるマウス髄液腔、髄液循環の画像化	柴田 靖	脳神経外科
医療マネジメント学会雑誌	急性期軽症脳梗塞クリティカルパスのパリアンス分析	柴田 靖	脳神経外科
脳神経外科	『解剖を中心とした脳神経手術手技』眼窩腫瘍の解剖と手術アプローチ；経頭蓋アプローチについて	坪井康次	脳神経外科
Biotherapy	悪性神経膠腫再発例に対するホルマリン固定自家腫瘍ワクチン療法	坪井康次	脳神経外科
脳神経外科	脳腫瘍に対する血管新生抑制療法	高野晋吾	脳神経外科
Advances in Neutron capture therapy	A new NEDO research project towards hospital based accelerator BNCT using advanced DDS system.	Akira Matsumura	脳神経外科
Advances in Neutron capture therapy	201Tl/99mTc-MIBI SPECT to Evaluate Therapy Effect of BNCT with BSH and BPA for malignant brain tumor	Yasushi Shibata	脳神経外科
Advances in Neutron capture therapy	Combination of fractionated photon radiation and BNCT.	Tetsuya Yamamoto	脳神経外科
Advances in Neutron capture therapy	Application of HVJ envelope system to boron neutron capture therapy(BNCT)	Kei Nakai	脳神経外科
脳卒中	脳内出血急性期の全身合併症の解析と対策	鈴木謙介	脳神経外科
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 64; 1179-1182, 2006.	Early determination of uterine cervical squamous cell carcinoma radioresponse identifies high- and low-response tumors.	Ohara K, Oki A, Satoh T, Tsunoda H, Yoshikawa H et al.	婦人・産科
Cancer Lett 231:309-313, 2006.	IgG antibodies to HPV16, 52, 58 and 6 L1-capsids and spontaneous regression of cervical intraepithelial neoplasia.	Matsumoto K, Oki A, Yoshikawa H et al.	婦人・産科
Proc Natl Acad Sci U S A. 103:224-229, 2006.	Premature ovarian failure in androgen receptor-deficient mice.	Shiina H, Sato T, , Yoshikawa H et al.	婦人・産科

13件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
J Thromb Haemost. 4: 581-586, 2006.	Incidence of venous thromboembolism following major abdominal surgery: a multi-center, prospective epidemiological study in Japan.	Sakon M, Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期
Cancer Sci. 97:106-112, 2006.	Phenotypic characterization of endometrial stromal sarcoma of the uterus.	Yamada K, Tsunoda H, Yoshikawa H et al.	婦人・周産期
Mol Cell Biochem. 288: 47-57, 2006	Inhibitory cis-element-mediated decay of human papillomavirus type 16 L1-transcript in undifferentiated cells.	Mori S, Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期
J Gene Med. 8:990-997, 2006	Inhibitory cis-element-mediated decay of human papillomavirus type 16 L1-transcript in undifferentiated cells.	Ogura T, Hamada H, <u>Yoshikawa H</u> , et al.	婦人・周産期
Int J Cancer, 119: 2713-2715, 2006	Do we need a different strategy for HPV screening and vaccination in East Asia?	Miura S, Matsumoto K, Oki A, Satoh T, Tsunoda H, Yoshikawa H et al.	婦人・周産期
Cancer Letters, in press	Combined phospho-Akt and PTEN expressions associated with post-treatment hysterectomy after conservative progestin therapy in complex atypical hyperplasia and stage Ia, G1 adenocarcinoma of the endometrium.	Minaguchi T, Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期
Virology. 2006 Sep 27; [Epub ahead of print]	Neutralization of HPV16, 18, 31, and 58 pseudovirions with antisera induced by immunizing rabbits with synthetic peptides representing segments of the HPV16 minor capsid protein L2 surface region.	Kondo K, <u>Yoshikawa H</u> , et al.	婦人・周産期
Gynecol Oncol. 104:32-35, 2007.	Treatment with paclitaxel plus carboplatin, alone or with irradiation, of advanced or recurrent endometrial carcinoma.	Arimoto T, <u>Yoshikawa H</u> , et al.	婦人・周産期

8件

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	診療ケル ーフ名
Br J Cancer. 29; 96: 290-295. 2007	Tissue factor expression as a possible determinant of thromboembolism in ovarian cancer. Br J Cancer.	Uno K, Satoh T, Matsumoto K, Oki A, Tsunoda H, Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期
Pediatric Research, 59 : 121-125, 2006	Standardization of the PQRST waveform and analysis of arrhythmias in the fetus using vector magnetocardiography	Hamada H	婦人・周産期
Journal of Gene Medicine, 8 : 990-997, 2006	Utility of intraperitoneal administration as a route of AAV serotype 5 vector-mediated neonatal gene transfer	Hamada H	婦人・周産期
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 78(1): 63-67	耳下腺基底細胞腺癌の1例	田中秀峰、原晃等	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 78(1): 69-72	無自覚の頸部木片異物の1例	飛田忠道、原晃等	耳鼻咽喉科
Hearing Research 209: 86-90	Protective effect of calcineurin inhibitors on acoustic injury of the cochlea	Isao Uemaetomari, Akira Hara, et al	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	聴神経腫瘍診断—発見にはどの検査が必要か	原 晃	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	中耳手術の皮切法（耳内法）	原 晃	耳鼻咽喉科
Hearing Research 214: 1-6	The effect of tempol, 3-aminobenzamide and nitric oxide synthase inhibitors on acoustic injury of the mouse cochlea	Hidekazu Murashita, Akira Hara, et al	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 33: 231-233	Coexistence of pemphigus vulgaris and bullous pemphigoid in the upper aerodigestive tract	Keiji Tabuchi, Akira Hara, et al	耳鼻咽喉科
JOHNS 22: 923-926	薬物による聴覚障害の基礎—生理学的所見	田淵経司、原 晃	耳鼻咽喉科
The Journal of Otolaryngology 35: 281-283	Basal cell carcinoma involving the bilateral temporal bone	Keiji Tabuchi, Akira Hara, et al	耳鼻咽喉科
The Laryngoscope 116: 182-186	Temporal bone histopathologic abnormalities associated with mitochondrial mutation T7511C	Kotaro Ishikawa, Akira Hara, et al	耳鼻咽喉科

13 件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Auris Nasus Larynx 33: 455-460	Successful treatment of eosinophilic otitis media using ramatroban: Report of two cases	Tetsuro Wada, Akira Hara, et al	耳鼻咽喉科
Anesth Analg 2006;102:38-44	Effects of sevoflurane on carotid-cardiac baroreflex responses in humans	Umehara S, Tanaka, M, Nishikawa T	麻酔科
日本臨床麻酔学会誌	麻酔と心臓迷走神経反射	田中 誠	麻酔科
Anesth Analg 2006;102:1298	Cautious use of trachlight in infants	Inomata S	麻酔科
Cereb Cortex2007;17(3):653-60	Innserion of alghp7 nicotinic receptors at neocortical layer V GABAergic syrapses is induced by a benzodiazepine, midazdam	Yamamoto S	麻酔科
J Anesth 2006:20;279-83	Systemic clonidine activates neurons of the dorsal horn, but not the low ceruleus (AG) or the the A7 area, after a florwdzntest	Fukuda A	麻酔科
J Anesth 2006:20;263-273	Site of fresh gas inlec and rations of delivered fraction and insired fraction of inholed isoflurane and sevoflurane in low-flow anesthsia	Fukuda A	麻酔科
Neuroso:Lett2006:403;20-3	Moderate hyper capnzer-induced anesthtsc effects and endogenous opiozds	Fukuda A	麻酔科
J Oral Maxillofacial Surg 64:81-86, 2006	Predictive factors for the histologic response to preoperative radiotherapy in advanced oral cancer.	Onizawa K, Yoshida H	歯・口腔外科
Head Face Med 2:(9)1-5, 2006	Administration of bisphosphonate for hypercaicemia associated with oral cancer.	Onizawa K, Yoshida H	歯・口腔外科
Bone Marrow Transplant 38:237-242, 2006	A prospective study to evaluate a new dental management protocol before hematopoietic stem cell trasplamtation.	Yamagata K, Onizawa K, Yanagawa T, Yoshida H	歯・口腔外科

11件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Pediatr hematol Oncol 23:541-548, 2006	Dental management of pediatric patients undergoing hematopoietic stem cell transplant.	Yamagata K, Onizawa K, Yoshida H	歯・口腔外科
日有病歯誌 15:3-8, 2006	肝疾患患者における全身麻酔下口腔外科手術後の肝障害の検討	吉田 廣	歯・口腔外科
Ann Thorac Surg 82(1) : 314-316, 2006	Two cases of chronic Pulmonary thromboembolism saved by postoperative use of a percutaneous cardiopulmonary support device.	Sato M	救急
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton beam therapy for invasive bladder cancer: a prospective study of bladder-preserving therapy with combined radiotherapy and intra-arterial chemotherapy.	Hata M, et al	放射線腫瘍科
Cancer	Proton beam therapy for hepatocellular carcinoma with limited treatment options.	Hata M, Tokuyue K, Et al	放射線腫瘍科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Early determination of uterine cervical squamous cell carcinoma radioresponse identifies high- and low-response tumors.	Ohara K, et al	放射線腫瘍科
Strahlenther Onkol	Proton beam therapy for hepatocellular carcinoma patients with severe cirrhosis.	Hata M, Tokuyue K, Et al	放射線腫瘍科
Acta Oncol	A patient surviving for eight years after proton and x-ray irradiation for advanced esophageal cancer.	Fukumitsu N, Tokuyue K, et al	放射線腫瘍科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Repeated proton beam therapy for hepatocellular carcinoma.	Hashimoto T, Tokuyue K., et al	放射線腫瘍科

9件

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	診療グループ名
ECHOCARDIOGRAPHY 2006; 23: 369-375	The wake of a large vortex is associated with intraventricular filling delay in impaired left ventricles with a pseudonormalized transmitral flow pattern	Tomoko Ishizu, Yoshihiro Seo	集中治療診療グループ
Circ J 2006; 70: 1290-1296	Peak C-reactive protein concentration correlates with left ventricular thrombus formation diagnosed by contrast echocardiographic left ventricular opacification in patients with a first anterior acute myocardial infarction	Yoshihiro Seo, Hiroshi Maeda	集中治療診療グループ
Circ J 2006; 70: 1629-1634	Echolucent carotid plaques as a feature in patients with acute coronary syndrome	Yoshihiro Seo, Shigeyuki Watanabe	集中治療診療グループ
医学のあゆみ 2006; 217(6): 682-688	心臓再同期療法の実際 - 適応と手技	瀬尾由広、青沼和隆	集中治療診療グループ
循環器科 2006; 59 suppl.3: 414-425	動脈硬化性疾患の診断基準の標準 - 虚血性心疾患	瀬尾由広、渡辺重行	集中治療診療グループ
Progress in Medicine 2006; 26(supple.1): 1499-1503	心不全薬物療法	瀬尾由広、河野了	集中治療診療グループ
Paediatr Anaesth, 2006; 16: 1285-8	Prolonged use of dexmedetomidine in an infant with respiratory failure following living donor liver transplantation	Enomoto Y, Mizutani, T	集中治療診療グループ

7件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
J Anesth 2006; 20: 300-3	Respiratory failure due to morbid obesity in a patient with Prader-Willi syndrome : an experience of long-term mechanical ventilation	Nishikawa M, Mizutani, T	集中治療診療グループ
人工呼吸 23: 201, 2006	人工呼吸器を用いる際の安全対策-ナースコール連携システムの有用性-	清水 雄、水谷太郎	集中治療診療グループ
人工呼吸 23: 233-4, 2006	CPAP マスク「プーシナック」使用時の HME 併用は加湿に有効か	津山享子、水谷太郎	集中治療診療グループ
Cancer 106:648-53, 2006	Expression of the bax inhibitor-1 gene in pulmonary adenocarcinoma.	Tanaka R, Inadome Y, Morishita Y, Kano J, Noguchi M	病理学的診断
Cancer Sci 97:106-12, 2006	Phenotypic characterization of endometrial stromal sarcoma of the uterus.	Yamada K, Kano J, Noguchi M	病理学的診断
J Clin Oncol. 24:70-75, 2006	Neuroendocrine neoplasms of the lung:a prognostic spectrum.	Asamura H, Noguchi M	病理学的診断
J Oral Maxillofac Surg. 64:81-86, 2006	Predictive factors for the histologic response to preoperative radiotherapy in advanced oral cancer.	Onizawa K, Noguchi M	病理学的診断
Int. J. Cancer 118:2498-2504, 2006	Frequent <i>EGFR</i> mutations in noninvasive bronchioloalveolar carcinoma.	Matsumoto S, Noguchi M	病理学的診断
Journal of Thoracic Oncology 2:160-167, 2006	The ACIN1 gene is hypermethylated in early stage lung adenocarcinoma.	Shu Y, Kano J, Anami Y, Noguchi M	病理学的診断
Eur J Radiol 59:60-64, 2006	CT-guided needle biopsy of lung lesions: A survey of severe complication based on 9783 biopsies in Japan.	Tomiyama N, Noguchi M	病理学的診断

10 件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Pathol Int 56:434-439, 2006	Characteristics of loss of heterozygosity in large cell neuroendocrine carcinomas of the lung and small cell lung carcinomas.	Takeuchi T, Noguchi M	病理学的診断
World J Gastroenterol 12:3740-3745, 2006	Immunohistochemical expression of mismatch repair genes: A screening tool for predicting mutator phenotype in liver fluke infection-associated intrahepatic cholangiocarcinoma.	Liengswangwong U, Noguchi M	病理学的診断
JTO 1:780-786, 2006	Analysis of differentially expressed genes in neuroendocrine carcinomas of the lung.	Okubo C, Anami Y, Morishita Y, Noguchi M	病理学的診断
Cell Biology International 30:992-998, 2006	Differentiation potential of an immortalized non-tumorigenic human liver epithelial cell line as liver progenitor cells.	Tokiwa T, Noguchi M	病理学的診断
Cancer Res 66:11131-11139, 2006	Consistent liver metastases in a rat model by portal injection of microencapsulated cancer cells.	Enomoto T, Noguchi M	病理学的診断
Surg Today 36:382-384, 2006,	Effectiveness of steroid treatment for hoarseness caused by idiopathic fibrosing mediastinitis: Report of a case.	Ichimura H, Noguchi M	病理学的診断
Eur J Pharmacol. 2006 ;553(1-3) :54-60.	Effect of norepinephrine on RhoA, MAP kinase, proliferation and VEGF expression in human umbilical vein endothelial cells.	Seya Y, Fukuda T, Isobe K, Kawakami Y, <u>Takekoshi K</u>	臨床病理

7件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療گر -フ名
Metabolism 2006; 55:1122-1128.	Long term exercise stimulates AMP-activated protein kinase activity and subunit expression in rat visceral adipose tissue and liver.	Takekoshi K, Fukuhara M, Isobe K, Kawakami Y, Ohmori H.	臨床病 理
Journal of Neuroendocrinology, i n p r e s s , 2007.	AICAR stimulates Tyrosine Hydroxylase activity and Catecholamine Secretion by Activation of AMPK in PC12 Cells.	Fukuda T, Isobe K, Kawakami Y, Takekoshi K	臨床病 理
Hormone Research 68: 68-71, 2007	Novel germ line mutations in the SDHB and SDHD genes in Japanese pheochromocytomas	Isobe K, et al	臨床病 理
Biological Psychiatry	A Polymorphism in the PDLIM5 Gene Associated with Gene Expression and Schizophrenia	有波忠雄	遺伝
Clinical and Experimental Allergy	ADAM33 polymorphisms are associated with asthma susceptibility in a Japanese population	有波忠雄 野口恵美子	遺伝
Journal of Human Genetics	An association between asthma and TNF-308G/A polymorphism: meta-analysis	有波忠雄 野口恵美子	遺伝
Epilepsy Research	Molecular genetics of febrile seizures.	有波忠雄	遺伝
Journal of Human Genetics	Analyses of the associations between the genes of 22q11 deletion syndrome and schizophrenia	有波忠雄	遺伝
臨床看護 32 (9), 1356-1360, 2006.	外来看護の今とこれから 第4 回 睡眠外来	片寄泰子	睡眠呼 吸障害
Medical Technology 34 (13): 1699-1704, 2006.	最新臨床検査機器のすべて 生 理機能検査機器 7) 睡眠時呼吸障害検査機器	片寄泰子	睡眠呼 吸障害
精神科治療学 21(6), 589-595, 2006.	睡眠時無呼吸症候群 (SAS) の病 態と診断—精神科医にこれだけ は知ってほしいこと—	佐藤 誠	睡眠呼 吸障害

11件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Mebio 24(3): 104-113, 2007.	睡眠時無呼吸症候群 睡眠時無呼吸症候群の治療と予後 1. CPAP	安田 京	睡眠呼吸障害
微研ジャーナル友. 29:3-10, 2006.	いびきと閉塞型睡眠時無呼吸低呼吸症候群-睡眠呼吸障害診療の現状.	佐藤 誠	睡眠呼吸障害

2 件
281 件

(注)

- 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長	山田 信博
管理担当者氏名	医療情報部長	五十嵐 徹也
	薬剤部長	幸田 幸直
	病院総務部総務課長	邊見 達義、医事課長 原 忠篤

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医療情報部 薬剤部 総務課	カルテは一患者一ファイルにより医療情報部で管理している。 エックス線等写真も医療情報部で一括して保管している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従事者数を明らかにする帳簿	総務課		
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課、医事課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
	体規制則 確第 保9 の条 状の 況2 3 及び 第 11 条各 号に 掲げ る	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	臨床医療管理部	有
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理室	有
		医療に係る安全管理を行なう部門の設置状況	臨床医療管理部	有
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医療福祉支援センター	有	
医療に係る安全管理のための指針の整備状況		臨床医療管理部	有	
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		リスクマネジメント委員会	月1回	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		臨床医療管理部	年9回	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	臨床医療管理部	電子媒体		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 山田 信博
閲覧担当者氏名	総務課長 邊見 達義、医事課長 原 忠篤
閲覧の求めに応じる場所	病院総務部 総務課、医事課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	4件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 2件
	地方公共団体	延 2件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	73.3%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		12,932人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		4,688人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		962人
	D: 初診の患者の数		20,639人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13 - 2)

規則第 9 条の 23 及び第 11 条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	㊦ (1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	㊦ (1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	㊦ ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (1) 名 兼任 (2) 名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故防止のための調査、分析、指導及び教育 ・ 医療事故発生に伴う調査、分析、指導 ・ 医事紛争支援 ・ 医療サービスの向上のための企画及び教育 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	㊦ ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊦ ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織として事故防止に取り組む。 ・ 情報の共有化を図り、事故防止に役立てる。 ・ 事故防止のための教育研修システムを整え、教育研修を年 2 回以上行う。 ・ 医療事故防止マニュアルを必要に応じ閲覧に供する。 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 13 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床医療管理部から報告を受け、インシデントレポート、オカレンスレポート等の分析、改善案等を協議する。 ・ 医療事故の防止のための啓発を図る。 ・ 医療事故が発生した場合の適切な対策を協議する。 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 9 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 第 1 期の研修プログラム 「医療事故と再発防止対策」 第 2 期の研修プログラム 「医療を受ける人の視点」 臨時の研修プログラム 「茨城県における医療安全と地域医療について」 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (㊦ ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 転倒・転落リスクの高い患者のベッド柵を原則 3 本とした。 ・ 留置した胃管から液体等を注入する前にレントゲン写真等によって確認すること。 ・ 手術および処置における圧縮空気の噴射を必要最小限にすることとした。 	